

一関工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	法学
科目基礎情報					
科目番号	0053		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	一般科目		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	早川吉尚「法学入門」有斐閣ストウディア (2016)				
担当教員	鈴木 美南				
到達目標					
<p>法学は、社会科学の一分野である。工学を専攻するうえで、法学を学ぶことに疑問を覚える学生もいるかもしれない。しかし、工学とは、数学と自然科学を基礎とし、ときには人文科学・社会科学の知見を用いて、公共の安全、健康、福祉のために有用な事物や快適な環境を構築することを目的とする学問である。したがって、法学を学ぶことは、社会科学の知見を広げることを意味し、工学の修得を助けることにつながる。よって、本講義の到達目標は、工学を専攻する学生に必要な程度の法学の習得となる。</p> <p>【教育目標】B 【学習・教育到達目標】B-1・B-2</p>					
ルーブリック					
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1		法学を学び社会科学の知見を十分に広げることができる	法学を学び社会科学の知見を一定程度広げることができる	法学を学び社会科学の知見を広げることができない	
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	<p>法学は、社会科学の一分野である。工学を専攻するうえで、法学を学ぶことに疑問を覚える学生もいるかもしれない。しかし、工学とは、数学と自然科学を基礎とし、ときには人文科学・社会科学の知見を用いて、公共の安全、健康、福祉のために有用な事物や快適な環境を構築することを目的とする学問である。したがって、法学を学ぶことは、社会科学の知見を広げることを意味し、工学の修得を助けることにつながる。</p>				
授業の進め方・方法	<p>教科書として提示している本に準拠して授業は行わないが、教科書などの基本書を通読することによって、授業内容の予習になるため、教科書などの基本書通読を推奨する。また、授業ごとにレジユメ（プリント）を配布するため、それに基づいて復習することが望ましい。</p>				
注意点	<p>本講義は、授業で学生に意見を求める場合があるため、その際は積極的な参加を求める。 【事前学習】教科書の該当箇所を通読することがのぞましい。 【評価方法・評価基準】期末試験（60%）、課題（40%）で評価する。総合成績60点以上を単位修得とする。</p>				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	法学とはなにか（導入）	法学とはどのような学問なのか、概要を学ぶ	
		2週	「法」とはなにか	導入としての「法」を学ぶ	
		3週	法の類型	法にはどのような類型があるのか、その特色を学ぶ	
		4週	アカデミックな文章の書き方①	法を学ぶうえで、必要となるのが文章の書き方である。脚注の扱い方などを学ぶ。	
		5週	アカデミックな文章の書き方②	アカデミックな文章の捉え方を学ぶ。	
		6週	アカデミックな文章の書き方③	課題として出した文章を見直し、自分になにが足りないのかを学ぶ。	
		7週	憲法	法律の基礎となる憲法を学ぶ	
		8週	民法①	私法の中で多く知られている民法を学ぶ	
	2ndQ	9週	民法②	民法（各論）	
		10週	刑法①	公法の中で多く知られている刑法を学ぶ	
		11週	刑法②	刑法（各論）	
		12週	ケース・スタディ①	新潟水俣病	
		13週	ケース・スタディ②		
		14週	ケース・スタディ③		
		15週	まとめ		
		16週	達成度の点検		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験	課題	合計	
総合評価割合		60	40	100	
総合評価		60	40	100	